クマ出没注意！

鳥獣被害防止特措法に基づき、市町村により鳥獣被害防止計画が取り組まれています。中でもクマ等の野生動物が出没し、人的被害や農作物などの被害が多く発生しています。特に動物は、繁殖期や発情期は神経質になったり、警戒心が強くなったりします。エサを求めている動物に遭遇した際は近づかず、自治体に通報しましょう。

クマに遭遇した際は、「慌てて走り去らず、ゆっくり後ずさりする」「鈴などを鳴らす」「大きな音が鳴る花火を上げる」「クマよけスプレーを噴射する」。その他、電気柵やわな、警戒システム等も有効です。また、ヤブや草地の刈り払いや、苗木を植えて山を整えることで自然の境界線を作るなどの環境改善が求められています。各家庭ではカキやクリ、生ゴミ、ペットフードやペンキ塗料などの管理を徹底しましょう。

防犯一口メモ